

Title	目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2016
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.89, No.2 (2016. 2) ,p.ix- xii
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	関根政美教授退職記念号
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20160228--008

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

目次

目次

序	岩谷十郎	v
マルチメソッドによる意識調査の比較分析	小林良彰	一
集合的記憶と個人的記憶 ——記憶の共有性と忘却性をめぐって——	有末賢	一九
イギリスのインド洋戦略と日米戦争 ——一九四一—一九四二年——	赤木完爾	四二
ジャーナリズムと歴史認識	大石裕	三

政治学にとっての経済学の成果と限界	田所昌幸	八九
玄関口までやってきたテロリズム		
——シンガポール、二〇〇二年一月——	山本信人	二三
「存在論的不安」再考		
——アンソニー・ギデンズの「不安の社会学」をめぐる——	澤井敦	三七
グローバリゼーションの時空間とエスニック・マイノリティ向け社会政策		
——「多文化主義と空間」研究に向けた試論——	塩原良和	一三
二つの核言説と「核アレルギー」		
——一九六〇年代日本における原潜寄港反対論の分析——	烏谷昌幸	一八九
ディアスポラの母国メディア利用		
——バンクーバー在住韓国系ディアスポラの事例——	李光鎬	二三
チェルノブイリ原発事故報道とメディアの政治学	山腰修三	二三

ディアスボラの知識人たちとの出会い ——クワメ・ンクルマの政治思想(二)——	阿久津昌三……………二六二
オーストラリア外交における難民問題と地域的解決の模索	松井佳子……………二八九
ポジシヨナリティ・ポリティクス序説	池田 緑……………三七
「安全」かつ「効率的」管理に向かうカナダの難民庇護政策 ——ハーバー保守党政権による境界再編に関する一考察——	大岡 栄美……………三四三
行政プログラムの評価研究における方法論的考察 ——ペアレンティング・プログラムに関する「束」としての調査分析——	斎藤 嘉孝……………三七二
フランスにおける女性へのシティズンシップの拡大 ——パリテ導入に対するEUの影響——	鈴木 規子……………三八九
森林の不法占拠者による民衆の政治 ——インド・アッサム州のバリパラ保留林を事例に——	木村真希子……………四二五

ヒューズ、エゲルストン、ブルースに見る豪ナショナリズムと帝国主義

—— 戦間期英・豪二国間コミュニケーション構想・政策の起源と進展 —— 岡本哲明 …… 四四七

労働市場の流動化と日系ブラジル人をめぐる編入様式 …… 竹ノ下弘久 …… 五二〇

関根政美教授略歴・主要業績 …… 四七五